Weekly Bulletin Vol.69 No.3 2024–2025 RI会長 ステファニー A. アーチック 泉大津ロータリークラブ（創立1956.5.4）

週報 第3254回

会　長　渡辺　万寿　　**副会長**　瀧谷　達
幹　事　根尾　玲子　　**ＳＡＡ**　中田　広宣

例会場　ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
ＴＥＬ　0725-20-1121
例会日時　毎週金曜日 12：30 ～ 13：30

事務局　〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500　FAX.0725-21-9501
メールアドレス　info@izumiotsu-rc.org
ホームページ　http://izumiotsu-rc.org

今週の例会（2024年7月19日）　第3254回

■ プログラム

卓話担当　藤野　修次　会員
卓話講師　泉大津税務署長　家信　晴江　様

■ 次週のプログラム

７月26日：ガバナー公式訪問

■ 今後の予定

・８月２日：クラブフォーラム
クラブ奉仕部門各委員長

■ 祝　誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それでこそロータリー

今月の歌

知床旅情

知床の岬に　はまなすの咲くころ
思い出しておくれ　俺たちのことを
飲んで騒いで　丘にのぼれば
はるかクナシリに　百夜は明ける

■ 先週の例会

会長の時間　渡辺　万寿　会長

「毎週の例会で心を磨く」

ロータリー運動は、倫理運動です。ロータリークラブは、寄付団体でも慈善団体でもボランティア団体でもありません。ロータリアンに奉仕の心を授け、倫理を提唱していく団体、即ち、ロータリアンの心の開発を第一義とする団体であります。

ロータリーが倫理運動であるということが、一体どこに書いてあるのかといいますと、「ロータリーの綱領」を読むと、ロータリーがまさに倫理運動である、ということが一目瞭然に分かるだろうと思います。「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあ

り」と言われます。自分のためにものである職業が、人のためのものである奉仕のテーマになりうるのでしょうか。職業を営むこと、即ち、金を儲けることが、何故、同時に世のため人のための奉仕になるのか。
職業を奉仕と考えるためには、一体いかなる考え方が必要なのか。

この一点が判らないと、ロータリーの職業奉仕は、永久に判らないことになります。一生懸命に自分の仕事をすることが職業奉仕である、という考え方があります。しかし、一生懸命に自分の仕事はロータリアン以外の人達もしています。極端なことをいえば、暴力団でも一生懸命に自分の仕事をしています。しかし、これを職業奉仕と言うことはできません。スイスの片田舎で、老婆がざるの中に羊の毛を入れて、それを小川の流れに浸して洗っていました。そこへ神父さんが通りかかりました。「お婆さん、貴女は、毎週教会に来て私の話を聞いているから、さぞかし物知りになっただろうね」「いや、神父さん、聞いてもすぐ忘れてしまいますから、何も覚えていませんよ」「ほう、それは困ったね」「でも、私はそれでいいと思いますよ。神父さん。このざるの中を見てください。ざるの中には、どんどん水が入ってきますが、すぐにざるの外へ流れ去ります。しかし、ざるの中の羊の毛はこんなに綺麗になっているでしょう。私も神父さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れますけれども、それで私の心は少しは綺麗になっていると思いますよ。」

この話は何を意味するか。聞いては忘れ、聞いては忘れながら、羊の毛のように、自分自身が磨かれていくということを意味しています。ロータリーは、毎週、例会に出て来いと言うのであります。これが寄付団体であれば、毎週、例会を開く必要はありません。

ロータリーはクリスチャンが毎週一回、教会に行って心を磨くように、必ず毎週一回の例会には出て来いというのです。時々、「私は仕事が忙しいから例会には出席できません。」という人がいますが、本末転倒の議論だと言わなければなりません。職業奉仕を実践するためには、先ず毎週の例会に出席しなければならないのです。

幹事報告

根尾 玲子　幹事

○例年の通り6月～9月までの間、クールビズ例会を実施させて頂きますのでよろしくお願い致します。ドレスコードはノーネクタイでも大丈夫です。
○高石ロータリークラブ例会変更のお知らせ
7月16日(火)の例会は休会
8月6日(火)の例会は8月30日(金)納涼家族会に変更
8月13日(火)の例会は休会

委員会報告

なし

■ ビジター

ガバナー補佐　久保　忠生　様(和泉RC)

■ 出席報告

会員数44名　出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/12	39名	5名	—	88.64%
6/28	40名	4名	1名	93.18%

■ メークアップ

榎本(7/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

・本日は久保忠生ガバナー補佐、お忙しい所お出で頂きありがとうございます（渡辺）
・久保ガバナー補佐様、お越し頂き有難うございます。宜しくお願いします。理事の皆様、本日はクラブアッセンブリーよろしくお願いします（根尾）
・各部門理事の皆様、クラブアッセンブリーよろしくお願いします。久保ガバナー補佐様、ありがとうございます。よろしくお願いします（中田）
・ガバナー補佐 久保様、本日はよろしくお願いいたします（松内）
・久保ガバナー補佐様、本日は御忙しい中有難う御座居ます（釜野）

ニコニコ箱合計	17,000円
累計	60,000円

先週のプログラム ■ クラブアッセンブリー

クラブ奉仕部門担当理事
道正田　均

【基本方針】
クラブ奉仕部門は、会員増強・クラブ研修委員会に松村委員長。会報・IT委員会に小野寺委員長。親睦活動委員会に細川委員長。今年新たに情報規定委員会に上田委員長の４つの委員会で構成されております。クラブ奉仕部門は会員相互の交流と親睦を深めるための環境づくりをすること。そのために４つの委員会との連携を密にしクラブ活性化をしていきたいとおもっております。

【活動内容】
●会員増強・クラブ研修委員会
充実した奉仕活動を続けるために会員数を増やし、また退会の防止にも努めていく。７０周年時での会員数を５０名に増やすことを目標にする。女性会員の増強にも力をいれる。

●クラブ会報・IT委員会
親睦と奉仕の実践において必要な情報の収集や発信を行い、クラブの活動を分かりやすく広報していくことを目的とします。またデジタル化が進む社会においてITの活用を適切に進めていく。
●親睦活動委員会
行事の運営に携わりながらお互いの親睦を深め、学び合い、信頼関係や協力関係が構築されるように努める

●情報規定委員会
(1)地区情報規定委員会の研修への参加（2025年規定審議会の情報収集）
(2)ロータリー情報の提供
(3)クラブ細則の改定
① 細則第9条委員会第1節および第4節の改定（定款第6条五大奉仕と第11条理事および役員および委員会との整合性の確立）
②細則第12条会員選挙の方法第9節名誉会員2（c）の改定
③その他、クラブの現状にそぐわなくなった細則を検討、改定

細則改定は2024年12月年次総会での成立を目指します。その後、委員会は解散、次年度スタッフに引き継がれます。

社会奉仕部門
職業奉仕担当理事
山本　博章

本年度の職業奉仕担当理事を仰せつかりました山本博章です１年間どうぞ宜しくお願いいたします。まず最初に１年間一緒に活動していただきます委員会メンバーの紹介をいたします。委員長に私、山本が理事兼任で務めさせていただきます。副委員長に砂原会員、委員としまして松内会員、松村会員、泉谷会員、小門会員、西田会員。以上のメンバーで共に進めてまいります。　さて、この職業奉仕担当の理事を務めさせていただくにあたり初めての経験でありまして本当に今現在でもロータリークラブにおける職業奉仕とは何ぞや？社会奉仕との違いやその意味合いについて自分なりに勉強しているところでございます。何となくですが少しわかりかけてきたのかな？といったスタートとなっております…。

これまで五大奉仕の第２部門としてあったのが職業奉仕とされてきましたが近年では社会奉仕の中に職業奉仕も含まれいます。我々ロータリアンは個々の事業および専門職務の道徳的水準を高め品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深めあらゆる事業に携わる中で奉仕の理想を深めていくという目的を持つものである。会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行うことが含まれると記されています。職業奉仕とは全てのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。職業奉仕とは完全なるロータリー用語で辞書などには掲載がありません。職業奉仕という言葉は…職業を営むことが世のため人のための奉仕となるという意味があります。解りやすく言いますと職業の心と奉仕の心はひとつの心であると考えることが出来ます。世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営むべし！社会奉仕と職業奉仕は共あれ一つとして考えれます。奉仕活動に対して受益者が誰であるかで区別できます。職業は自分自身で奉仕は地域社会の人々でそれぞれが受益者となります。地域社会に奉仕をすれば人々から感謝と尊敬、信頼、信用を得てその反射的効果として利益を生み受益者が自分となります。最もよく奉仕する者には最も多く報われるという言葉がありますがロータリーに入り倫理を学び自身の職業を通じて社会に役立てること。昨年度、上田直前会長が受付に立てた入りて学び出でて奉仕せよがこれに当たるのかな？と思っています。

今年度の職業奉仕の活動プロジェクトとしまして堺にある大手食品メーカー企業の工場見学を予定しています。これから委員会を重ね日程や見学内容などスケジュールを組み立てご案内させていただきます。私自身も勿論のこと会員皆様方にも再度奉仕活動の意義を再認識し見直す機会になれば幸いです。１年間皆様と共に職業のスキルアップと更なるクラブ活動の発展、社会への貢献、奉仕活動につながるべく精進してまいりますのでご理解、ご協力どうぞ宜しくお願い申し上げます。

社会奉仕部門担当理事
櫻井　善章

皆様、こんにちは。
今年度、社会奉仕部門の地域社会奉仕部門、及び青少年・学友委員会分の理事を仰せつかりました、櫻井です。
委員会の構成メンバーは、副委員長として西田会員、委員に南出会員、松村会員、前山会員、
外山会員、岡本会員、今井康隆会員と、非常に精鋭メンバーです。
このメンバーで活動を行ってまいりますので、1年間よろしくお願いいたします。

さて、社会奉仕は、私たちロータリアン一人ひとりが社会の変化に適応し、地域のニーズを満たす奉仕活動を行っていくことです。地域の諸団体との協力による事業にもトライし、共にやりがいを感じて頂きたいと思います。会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かしながら、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めたり、地域の諸団体と協力して奉仕活動を行います。また、社会活動が一般社会の人々に十分認められるよう広報などにも努めていきます。

具体的な内容は
1.社会奉仕活動を地域で行う居場所づくりを考え、一般市民や青少年の活動の場を提供し支援します。具体的な活動を委員の皆様、ロータリー会員と考えていきます。
2.泉大津献血推進協議会等と協力し、献血活動をします。
3.環境保存や港湾美化啓発運動（清掃）を継続します。
4.青少年委員会活動として地域の諸団体と協力して、泉大津市主催のダンスイベントや泉大津市の子ども食堂等に協賛・後援協力します。

泉大津ロータリークラブの会員が、全員で参加出来、楽しみながら社会奉仕活動が出来るよう立案・計画し実行していきたいと思います。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際奉仕部門担当理事
西端　政博

皆さまこんにちは。
今年度、国際奉仕部門の理事職をお預かりしました西端です。1年間宜しくお願い致します。先ずは少し時間もありますので各委員会の紹介をさせて頂きます。
ロータリー財団委員長に今井克範会員、副委員長に杉本会員、籔野会員、中会員。米山奨学金委員長に八木秀富会員、副委員長に釜野会員、八木昌彦会員、深井会員。グローバル基金財務委員長に高寺会員、副委員長に森口会員、丹農会員、榎本会員。以上の3委員会で構成されます。
ここからは事業計画です。
現在、ロータリークラブの国際的な組織体制は各クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3つの柱で構成されており、これが一体となって世界中の地域社会に永続的な変化を生み出しています。ロータリーの活動も時代とともに活動範囲が広範囲になり、奉仕の理念も変容して来てると地区協議会で聞きましたが、しかしながら、変わらないのはロータリアン一人ひとりの奉仕に対する「思い」や「行動」ではないでしょうか。奉仕の原単位は個人。個人の集まりがクラブ、クラブの集まりが国際ロータリーと言う図式は今も変わらないロータリーの原点です。
2024-25年度ＲＩ会長ステファニーＡ．アーチックさんのテーマは「ロータリーのマジック」です。これは様々な奉仕活動をすることで地域が変わり、新会員を迎え入れることで可能性が広がるといった事です。また2024-25年度の第2640地区では「四つのテストを実践しよう」となっており、ステファニーＡ．アーチックＲＩ会長も「四つのテスト」の実践で世界はよりよくなると仰ってます。
最後に、今年度はこれらの可能性が私どもの身近で行われる関西国際万博の開催かも知れません。そこに「思い」と「行動」ともって参加することにより、世界約80億人の国際交流のチャンスに遭遇し、各国の

文化や課題を感じることで、今後の国際理解や親善、平和に向けた行動ができるのではないかと考えます。

今年度の活動計画としまして
①2025年6月21日～25日に開催されますＲＩ国際大会（カナダ・カルガリー）への参加の呼びかけ
②地区補助金を使った事業として泉大津市手話言語条例の施行を機会とした手話教室への視聴覚機器の提供
③グローバル奨学生の報告
④地区の関連委員会との連携
それぞれについての補足説明ですが、
①の国際大会は今後またご案内いたしますが行かれる方はご連絡ください。
②の地区補助金を使った事業は昨年度グローバル財団委員長の細川さんに地区への申請書作成から提出までを済ませて貰っており申請が通れば実行したいと思っております。
③のグローバル奨学生の報告ですが、先日奨学生の岸田くんが帰国してきましたので例会の調整をしましたがタイミングが合わず今回は来て頂けませんでしたが、渡辺会長を始め関係者と共に懇親会を開催させて頂き近況報告を聞かせて頂きました。無事にカリキュラムも終えて卒業となるのですが日本の様に卒業式に証書など全てを貰えるのでは無いと言う事で年内には報告書の資料が揃う予定ですので揃い次第報告となります。
　また、プチ情報ですが岸田くんは既婚者で2年間に結婚したそうです。今回は単身赴任でスイスへ行かれてたそうです。

　以上の活動計画を基に会員の皆様と1年を共有できればと思います。
ありがとうございました。

最後にガバナー補佐　久保　忠生様より講評をいただきました。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

＝言動はこれに照らしてから＝

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか